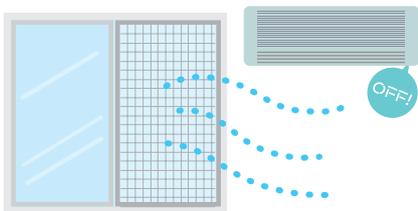


省エネルギー 暮らしの知恵

山口県では平成15年8月、家庭における身近な「省エネルギー暮らしの知恵（実践例）」を募集したところ、たくさんの皆さんからご応募をいただきました。最優秀賞・優秀賞・佳作を受賞した実践例の中から、その一部をご紹介します。

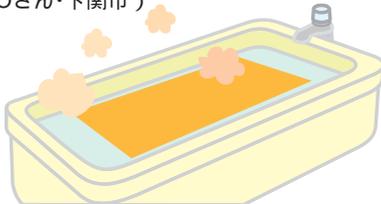
網戸の活用でエアコンの使用時間を削減

網戸を活用して自然の涼気を取り入れるようにしたことで、夏でも午前中1～2時間、エアコンの使用時間を減らすことができました。（Oさん・下関市）



浴槽用保温シートの活用でガス代を節約

浴槽用保温シートを使うことで、冬は湯温が4時間で10度も低下していたのが6～7度の低下ですむようになり、追い焚き燃料の都市ガス代を30%以上削減しました。（Oさん・下関市）



ビニールシートの活用で電力費を削減!

2間の間仕切り欄間をビニールシートで遮断して、1間だけでエアコンを使用できるようにして電気代を削減しました。（Mさん・豊浦町）



不凍液の氷枕で、スヤスヤ快眠!

不凍液の氷枕を昼間、冷凍庫で冷しておき、就寝時にその氷枕をタオルで巻いて利用することで、寝苦しい夏の夜でも、エアコンなしで就寝できるようになりました。（Oさん・下関市）



エコ運転で燃費向上を実現!

車間を十分にとって無駄なブレーキやアクセル操作を行わないエコドライブをするようにしたことで、燃費23km/10モードの仕様車で27km/10モードの走行を実現しました。（Mさん・光市）



打ち水や水枕を活用して電気代を節約!

夏は戸を開放したり、打ち水をしたり、水枕を使用したりして冷房機器の使用を減らし、また使わない電化製品はコンセントからプラグを抜くようにして電気代の削減を実現しました。（Tさん・豊浦町）

